

先生のオススメ！
〇〇的思考を養うならこれだ！ 篇

環境・建築デザイン学科

花田佳明先生のオススメ！
「哲学的思考」 を養うならこれだ！

哲学の謎
野矢茂樹／著　講談社現代新書
図書　請求記号： B104 / NOY【貸出用複本有り】

哲学の本というと学生諸君はどんなイメージをもつだろう。人生とは？愛とは？死とは？そんなことが書かれた本だと思った人はぜひ本書を読んでほしい。本書にはそんな辛気くさい話は登場しない。その代わり、「生物が絶滅して見るものがいなくなっても夕焼けは赤い？」「すべては夢で世界は5分前に始まった？」「時間が流れるとしてその速度はどれくらい？」といった不思議な問いとそれを巡る対話が並ぶ。そして読者は、実在・時間・行為・知識・自由といった言葉の意味、さらには言語それ自体が解体され、自分の足元が崩れ落ちる瞬間を目撃するだろう。本来の哲学とは、人間の思考の限界を言葉という武器によって知ろうとする、危険でしかもこの上なく魅力的な作業なのだ。あなたの哲学観はもちろん、ものを考えるという行為に対する意識が大きく変化すること間違いなし。だまされたと思って読んでほしい。そしてこの著者の別の本、たとえば同じ講談社現代新書の『無限論の教室』（B410.1/NOY）などへと読み進んで行くことを希望する。

宮本万理子先生のオススメ！
「エコロジカル・ランドスケープ的思考」
を養うならこれだ！

デザイン・ウィズ・ネーチャー (Design with Nature)
イアン・L・マクハーグ／著　集文社
図書　請求記号： 361.7 / MCH 【貸出用複本有り】

Design with Nature は、米国ランドスケープ・アーキテクトであるイアン・マクハーグによって出版された書籍です。マクハーグは1954年よりペンシルベニア大学で教職に従事し、同大学にランドスケープ・アーキテクト&地域計画学部を創設しました。その後米国環境庁において地球環境データを見据えた米国の環境調査並びに環境施策研究に従事した人物です。本書では、都市を生態学的視点から科学的に調査・分析する手法が紹介されており、こうした手法はその後の地域計画等を専門とする人々に大きな影響を与えました。本書が出版されて20年近くが経ちますが、時代を問わず、都市計画、地域計画、ランドスケーププランニングを学ぶ人に愛されつづけている書です。

展示期間： 2014年7月1日 ～ 8月29日

クラフト・美術学科

友定聖雄先生のオススメ！
「独創的思考」 を養うならこれだ！

アイディアのレッスン
外山滋比古／著　ちくま文庫
図書　請求記号： B141.5 / TOY【貸出用複本有り】

皆さんは「セレンディピティ」という言葉を知っているでしょうか？
芸工大のギャラリーの名前である「セレンディップ」と関係する言葉である事は想像できますが、この意味を知る人は少ないかもしれません。簡単にいえば「棚からぼたもち」と言うような意味です。我々クリエイティブな仕事を目指す者にとっては、誰もがアイディアが天から降ってくる事を待ちわび、望んだ事がある事と思います。そのような、「たなぼた」のアイディアがどのようにすれば天から降ってくるのか、或は、地面から湧いてでてくるのか、そのヒントがこの本にあります。

さくまはな先生のオススメ！
「現代アートの思考」 を養うならこれだ！

Sensation：Young British Artists
from the Saatchi Collection
Brooks Adams／【ほか】著　Thames and Hudson
図書　請求記号： 702.33 / SEN【貸出用複本有り】

伝説のアートコレクター、チャールズ・サーチ氏のお眼鏡にかなった作品群が一挙に紹介されている本著。現代アートを語る上で外せない一冊である。ヤング　ブリティッシュ　アーティスト、Young British Artistsの頭文字をとってYBA。90年後半のロンドンほまさにYBAムーブメントの花盛り。ロンドン中のアート学生らの目が恐ろしいほどの迫力でギラギラと輝いていた。背広を粹に着こなしたサーチ氏や辣腕ギャラリストらが卒展会場を闊歩する姿。そして、それを神妙な面持ちで見守る学生。期待、渴望、羨望、落胆、様々な感情が渦巻く会場。留学生の端くれだった私にとっても、あの独特の空気感は未だに忘れることができない。本著で紹介されているデミアン・ハーストの出世作であるサメのホルマリン漬けの作品は、今なお、異彩を放っている。また、ロン・ミュエックの床に寝転がる小さな男「Dead Dad（死んだ父）」のハイパーリアルな彫刻作品は、背徳感に苛まれつつ思わず笑ってしまうほどの絶妙な仕上がりである。YBAが終焉しても、作品の根底にある反骨精神とアーティストらの表現することへの貪欲さは決して色褪せることはない。

先生のオススメ！
〇〇的思考を養うならこれだ！ 篇

映像表現学科

本橋秀之先生のオススメ！
「妖界的思考」 を養うならこれだ！

妖鬼化（むじゃら） ①
関東・北海道・沖縄編
水木しげる／著　ソフトガレージ
図書　請求記号： 726.1 / MIZ / 1【貸出用複本有り】

水木しげるの妖怪原画集。恐ろしい異形たちがどこかユーモラスに感じられるのは、それぞれの妖怪の解説文も書かれた水木先生のおおらかさによるものでしょうか。不似合いな場所に見えた怪しい影、不気味な物音。そんな不可解な現象に、多くの人たちが納得しやすい物語と名前が付けられることによって、数々の妖怪たちが生まれてきました。地域によって付け加えられる物語が少しずつ違っているのも興味深いものです。緻密に描き込まれたオールカラーの妖怪画をつらつら眺めるだけでも十分に楽しめますが、情報ツールのない時代に口伝えでじわじわと認知度が広がっていく過程を想像するのも面白いかも。

吉田雅則先生のオススメ！
「自然観察的思考」 を養うならこれだ！

生き物の描き方：自然観察の技法
盛口満／著
図書　請求記号： 725 / MOR【貸出用複本有り】

デザインやアートを志す者にとって、自然の造形はインスピレーションを刺激する格好の材料です。わざわざ野山に出かけたりせずとも、少し戸外を出歩けば自然に目にする何気ない草花や虫、そうしたありふれた存在でも、よくよく観察してみれば思ってもみなかった「カタチ」を発見できることがあります。そこで見つけ出した気になるカタチをスケッチし、描き止めてみてはどうでしょうか。そんな習慣が身に付けば、きっと自分の創作にも新しい風を呼び込めるはず。でも、そうは言ってもどうもスケッチは苦手…。というあなた。この本は、そんなあなたに是非手にとって欲しい一冊です。

展示期間： 2014年7月1日 ～ 8月29日

まんが表現学科

橋本英治先生のオススメ！
「人生の終末的思考」 を養うならこれだ！

人間臨終図巻　上・下巻
山田風太郎／著　徳間書店
図書　請求記号： 914.6 / YAM / 1～2
【貸出用複本有り※】

人間の死亡率は100%です。例外は寡聞にして聞いたことがありません。「この人々はあなたの年齢でこんな風に死んだ」と帯にある山田風太郎渾身の「人間臨終図巻」。遅かれ早かれ誰もが終わりを臨む日（臨終）を迎えるはずです。この本は自分の生き方を他人の年齢を通して考える書籍です。一年に一度は必ずページをめくります。そう、自分の誕生日に。死ぬまで手放せない本となることは必定でしょう。はたしてあと何回めくれることか。「八百屋お七」（15歳）から「泉重千代」（121歳）まで登場します。山田風太郎作品は、忍法帖から時代もの、明治もの、現代ものと多数あります。どれも面白い作品ばかりです。柳生十兵衛ものは特におすすめです。

※貸出用は「人間臨終図巻1～4」＜新装版＞　徳間文庫　B914.6/YAM/1～4　です。

西村太一先生のオススメ！
「瞑想的思考」 を養うならこれだ！

シッダールタ
（「世界文学大系　55巻　ヘッセ・カロッサ」
筑摩書房　所収）

ヘルマン・ヘッセ／著
図書　請求記号： 908 / SEK / 55【貸出用複本有り※】

不思議感におそわれる本である。主人公シッダールタがお釈迦さまと同じ名前でありながら、釈尊本人ではない一代記。しかし、釈尊の葛藤・苦悩の人生をそのまま踏襲するかのようなシッダールタの人生がたどられる。パラレル・ワールドの人物が同じ世界にたちいたったかのようなSFのおもしろさ。彼を苦しみから解放するのは、彼が出会う釈尊ではなかった。「ひとり人間（＝息子）を愛し、愛に夢中になり、愛ゆえに痴人」となった彼、断ち切れない愛執から彼を救うのは……。

※貸出用は「シッダールタ」新潮文庫　B943 / HES　です。

先生のオススメ！
〇〇的思考を養うならこれだ！篇

出展資料リスト

基礎教育センター

基礎教育センター

久富敏明先生のオススメ！
「考現学的思考」 を養うならこれだ！

考現学入門
今和次郎／書　ちくま文庫
図書　請求記号： B380 / KON【貸出用複本有り】

常に鞆にコンベックス（巻尺）を入れている。日常生活や旅先の街で気になる場所やモノを測るためだ。最新の計測は京都の先斗町の最も狭い道幅=1510mmだ。計測することでその周辺の状況も合わせて把握することができる。このような観察と計測がいつの日か記憶の奥底から湧き出てきてデザインをつくり出すのだ。街の中には多くのアイデアのヒントが隠れている。森の中できのこを見分ける様な眼差しで街を観察しよう。今和次郎の「考現学入門」はそんな私のバイブルである。関連書籍「今和次郎採集講義」青幻舎。

※「今和次郎採集講義」380.1/KON

尹智博先生のオススメ！
「音楽的思考」 を養うならこれだ！

造形思考 上・下
パウル・クレー／著　新潮社
図書　請求記号： 720.1 / KLE / 1～2【貸出用複本有り】

『造形思考』と名付けられた書籍ではありますが、50年代以降に活躍した現代音楽家カールハインツ・シュトックハウゼンはこの書籍を指揮者であり作曲家のピエール・ブーレーズに、「これを読めば、クレーは最高の作曲教師だということが分かるよ」と紹介しました。そして、ブーレーズは「クレーの絵と音楽の関係」について研究を始めるほどこの書籍を愛読していました。この様に、ひとつの視点からのみ物事を捉えるのではなく、視点を変えることによって全ての物事が皆さんの知識の支えにもなっていきます。ぜひこの書籍をシュトックハウゼンやブーレーズが捉えていた『音楽的思考』もしくは皆さんの専門に合わせた『〇〇的思考』として読むことで、領域横断的な考え方が身に付くきっかけとなる事を願います。

展示期間： 2014年7月1日 ～ 8月29日

ファッションデザイン学科

ファッションデザイン学科

ファッションデザイン学科

小北光浩先生のオススメ！
「ファッション的思考」 を養うならこれだ！

Farm
Jackie Nickerson／写真　Jonathan Cape
図書　請求記号： 748 / NIC【貸出不可】

刊行当時、この本は、ファッションデザインのソースとしてとても重宝されましたし人気がありました。なぜ当時、この本がデザインソースとしてファッションで求められたのか、当時のファッションデザインの状況なども踏まえて考えてみてください。どんな流れで、何が必要とされたのか？それを考える事が思考を得る方法です。本を読んで他人の考えを鵜呑みにすることが思考ではありません。思い考える事、そうしたことができる本に出会えるよう祈っております(レポートなど出して頂ければコメント返させていただきますよ)。

金沢香恵先生のオススメ！
「アカデミックファッション的思考」 を養うならこれだ！

ファッションの世紀：
共振する 20 世紀のファッションとアート
深井晃子／著　平凡社
図書　請求記号： 383.1 / FUK【貸出用複本有り】

まだ二十歳くらいの頃古本市で手に取った展覧会の図録が深井晃子氏との出会いだ。当時美術館で衣服（ファッション）展示が取り上げられだした時代、いくつかのファッション展で普段目にする事のない衣服との出会いに心踊り、消費的に服が好きだった私に「ファッション」の面白さを教えてくれたのが美術館である。キュレーターである深井氏のアカデミックな視点で書かれたこの本は過去からの文化、美術、ファッションとの関係を解りやすく解説し、現在がどの様に過去からつながっているのかを教えてください。ファッション史、美術史と分断する事なく書かれた文面からは文化の中に位置づけられた衣服の立ち位置を見る事ができ、ファッション表現の可能性を広げてくれる。「人間の身体に投影された、時代と社会の欲望のイメージとして具現化したファッション。」という表現が印象的だ。

先生のオススメ！
〇〇的思考を養うならこれだ！篇

出展資料リスト

基礎教育センター

基礎教育センター

榮元正博先生のオススメ！
「即興的思考」 を養うならこれだ！

デレク・ベイリー：インプロヴィゼーションの物語
ベン・ワトソン／著　工作舎
図書　請求記号： 764.7 / BAIw【貸出用複本有り】

フリー・インプロヴィゼーション・ミュージックの巨匠デレク・ベイリーの評伝の邦訳。インプロヴィゼーションとは「即興」のことで、はじめてベイリーの音を聞いたときは、全くちんぷんかんぷんだったが、驚きと開放感を感じ、「分からなさ」を抱きつつ、今でも聞き続けている。デレク・ベイリーの哲学は、言語にたとえ「イディオマティック」と「ノン・イディオマティック」に分けており、「ノン・イディオマティック」な演奏つまりあらゆる語法から離れることによって自由な即興が可能になるのだと言う。情報に溺れ「イディオム」に翻弄される現代においてこそ、生きた音楽を常に模索していたベイリーの「即興」をめぐる思索を、もういちどたどり直してみたい。生きていくことは、常に「即興」なのだから。

萩原こまき先生のオススメ！
「複眼的思考」 を養うならこれだ！

おにぎりの丸かじり
東海林さだお／著　文春文庫
図書　請求記号： B596 / SH0【貸出用複本有り】

この本は著者が抱くさまざまな「食」への疑問が、奇妙な視点と独自のルールで考察・検証されたエッセイ集です。一見くだらないような思いつきにも、著者は大真面目に体を張って挑みます。フランスパンに頬ずりし、鴨南蛮の脂に星の連なりを発見する著者の生き方は「見る」「感じる」「作る」「楽しむ」など、私たちが忘れてしまいがちな、もの作りの原点を思い出させてくれます。制作に行き詰まった時、ふとページをめくれば、ガチガチになっていた思考や視点が、柔らかく広がるかもしれません。「丸かじりシリーズ」として30冊以上も出版されていますので、まずは気になったタイトルから手に取ってみてはいかがでしょうか。

展示期間： 2014年7月1日 ～ 8月29日

ファッションデザイン学科

ファッションデザイン学科

ファッションデザイン学科

曾和具之先生のオススメ！
「ワークショップ的思考」 を養うならこれだ！

協同と表現のワークショップ：
学びのための環境のデザイン
茂木一司／編集代表　東信堂
図書　請求記号： 379.6 / KY0 / 【貸出用複本有り】

最近、ワークショップという言葉をよく耳にすると思います。日本語では「協調型学習」とか「協働型学習環境」と呼ばれることもあります。もともとワークショップには、「様々な分野や文化、知識、経験を持った人がコラボレーションし、互いの能力を生かしながら、問題解決にあたるための手法」という意味があります。デザインの世界においても、今は、いろんな視点を持った人とのコラボレーションなしでは、デザイン活動がしにくくなっています。この本では、たくさんの人が協同して、ある表現を作っていくための環境づくりやツール作り、そして記録の仕方について書かれています。コラボレーション好きには必見の書籍です！

田頭章徳先生のオススメ！
「デザインの思考」 を養うならこれだ！

2分間ミステリ
ドナルド・J・ソボル／著　ハヤカワ・ミステリ文庫
図書　請求記号： B798/ SOB【貸出用複本有り】

推理小説の醍醐味はトリックや謎を推理することにある。「常識」や人間の心理を巧みに利用したもの、専門分野の知識を要求されるものなど様々な謎掛けがあり、問題を解く為に論理的に考えることはもちろん、常識を疑う視点や日常的な観察の習慣が要求される。そして、これらはデザインに取り組む上で重要なスキルであり、推理小説は最高の練習問題なのである。本書は、そんな推理小説の最も美味しい推理の部分だけを詰め込んだものであり、タイトル通り2分程度で一話を読む事ができ、効率よく「考える」習慣や、日常的に「観察」するトレーニングをすることができる。是非、本書をきっかけにして、思考や観察の習慣を養って頂きたい。